

目標達成計画

作成日：令和4年4月12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	Ⅲ	火災を想定した、避難訓練や、定期的に通報訓練を実施しているが職員全員の身に付いているとは言えない。また、地震や風水害等を想定した避難訓練を実施していない。	・出火場所による避難経路、一時避難場所を再検討し、入居者の状態にあった避難方法を身に付ける。	・通報訓練の実施(毎週日曜日) ・自主点検の実施(3.9月第1日曜日) ・総合訓練の実施(8月2月) ・入居者の特性に応じた避難方法を検討し、職員を入居者に見立てた避難訓練の実施。	12ヶ月
			・自然災害時避難マニュアルを理解し、避難方法を身に付ける。	・施設周辺の定期的な点検の実施(3.9月1日) ・施設、設備の定期的な点検の実施(3.9月1日) ・備蓄品や災害時に必要な食料品の定期的な点検の実施(3.9月) ・避難・誘導訓練の実施(5月) ・季節、災害の種類に応じた必要物品リストの周知・定期的な持出品の点検の実施 ・利用者情報の作成・定期的な更新	12ヶ月
			地域住民の協力体制を確保するための準備期間と位置づけ、地域住民や運営推進会議のメンバーの避難訓練の見学、率直な意見を頂く機会を定期的に設ける。	・運営推進会議の時間を利用し避難経路の確認、避難後の見守りの協力依頼。 ・地域の協力体制について呼びかけを実施。 ・地域の行事、運営推進会議を通し入居者と関わる機会を設ける	12ヶ月
2	I	コロナ禍の為、運営推進会議が書面開催となっている。入居者の状況とともに職員の勉強会、外部研修等の報告を行っているが、GHからの発信に留まっており、外部の意見をもらう機会がない。	書面開催であっても様々な意見をもらうことができサービスの向上に活かす。	・地域資源を把握する。 ・様々なボランティアの受け入れ。 ・苦情解決第三者委員の設置。 ・具体的なテーマを設け意見を出しやすい仕組みを作る	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の他を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。